

ぱすふぁいんだー **Pathfinder**(調べ方案内)

このパスファインダーは レファレンスデスクの りぶたまが作成しました。

経済学

※【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

1.経済学とは

経済学とは、社会科学の一部門で、経済に関する学問。経済学が対象とする経済とは、私的所有と私企業制度を基礎として高度に発達した現代の市場機構を中心とする経済組織をいう。

経済に対する接近方法には、(1)経済を「循環する流れ」とみる見方、(2)多数の目的に対する手段の希少性によって特徴づける立場(3)効用ないし福祉を出発点とする考え方、(4)経済をシステムとしてとらえる立場などがある。

また経済学は、価値判断に基づく政策評価を含むか否かによって、規範的経済学と実証的経済学とに分けることもできる。経済学のうち、経済過程全体の輪郭を全体として扱う部分をマクロ経済学と呼び、これに対し個々の経済単位の行動とその対象をそのまま分析する部分をミクロ経済学という。また静学・動学の区別がある。 (「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」より引用)

2.分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

<u> </u>	
分類番号	分 野
330	経済
331	経済学・経済思想
332	経済史・事情・経済体制
333	経済政策・国際経済
334	人口・土地・資源
335	企業・経営
336	経営管理
337	貨幣・通貨
338	金融・銀行・信託
339	保険

分類番号	分野
340	財政
341	財政学・財政思想
342	財政史・事情
343	財政政策・財務行政
344	予算・決算
345	租税
347	公債・国債
348	専売・国有財産
349	地方財政
350	統計

3.辞典·事典

『経済・ビジネス基本用語 4000 語辞典』

【330.3/N 77 品川 2F 参考図書】

日本経済新聞社編,日本経済新聞出版社,2009

日本経済新聞などで登場する重要キーワードのうち、基本的な経済・ビジネス用語 4024 語が収録されている。

『有斐閣経済辞典』 【330/Ka45 品川 2F 参考図書】

金森久雄, 荒憲治郎, 森口親司編, 有斐閣, 2013

経済関連の学術用語はもとより、専門分野の枠を超えるきわめて広範囲の用語を収録している。用語の意味を一読で理解できるように、平均 100 字で簡潔・明瞭な定義・解説になっている。

『経済・金融ビジネス英和大辞典』 【330.3/Ki24 品川 2F 参考図書】 菊地義明編, 日外アソシエーツ, 2012

経済・金融ビジネス専門紙誌等を読み解く上で、必要不可欠な各専門分野の基本用語と慣用語句を収録している。一語に対し金融専門分野の多様な語義を網羅しているため、文例の文脈に応じて適切な語義を選択できる。



ぱすふぁいんだー **Pathfinder**(調べ方案内)

このパスファインダーは レファレンスデスクの りぶたまが作成しました。

4.入門書

『ゼロからはじめる経済入門 : 経済学への招待』 【331/Y 75 品川 B1 図書】

横浜国立大学経済学部テキスト・プロジェクトチーム編,有斐閣,2019

経済事象に関する仕組みなどを分析や歴史的考察を通して、初心者向けにわかりやすく解説している。

『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』 【338.21/Ki41 品川 2F 学修支援(経済)】

金融知力普及協会,2017

経済と投資の基礎が図を用いながら、初学者にもわかりやすく書かれている。

『現代経済の解読 : グローバル資本主義と日本経済』第3版 【333.6/Sg 1 品川 2F 学修支援(経済)】 SGCIME編,御茶の水書房,2017

「序章」と全3部によって構成されている。第Ⅰ部では、世界経済の考察。第Ⅱ部では、日本経済の現況が考察されている。そして第Ⅲ部においては、現代経済社会の課題が書かれている。現代経済を学ぶのに適したテキストである。

『入門・日本経済』第 5 版 【332.106/A 84 品川 2F 学修支援(経済)/品川 B1 図書】

浅子和美 飯塚信夫 篠原総一編, 有斐閣, 2015

第二次世界大戦直後から、アベノミクスと称される経済戦略を打ち出した近年に至る日本経済の歩みを解説している。また、現代経済における仕組みや課題も明記されている入門書である。

5.雑誌

『経済学季報』 【R-1/2 品川 B3 紀要(新刊は 3F 立正大学紀要コーナー)】

立正大学経済学会編

立正大学経済学会所属の研究者による発表論文が掲載されている。

『週刊東洋経済』 【330.5/19 品川 B3 雑誌(新刊は 3F 開架雑誌コーナー)】

東洋経済新報社

日本経済の動向から世界の経済についてまで取り上げられている。東洋経済新報社による経済・ビジネス・企業情報に特化したデータベース「東洋デジタルコンテンツライブラリー」からバックナンバーの検索・閲覧も可能である。

『エコノミスト』 【330.5/12 品川 B3 雑誌(新刊は 3F 開架雑誌コーナー)】

毎日新聞社

日本と世界の両方の視座から経済を分析している。金融情勢の情報も含まれている。新聞データベース「毎日 News パック」に全文記事あり。(収録期間:1989 年 10 月 31 日~)

€・インターネット(学会サイト等)

『日本経済学会連合』 http://www.ibi-japan.co.jp/gakkairengo/htdocs/

日本経済学会連合のウェブサイト。経済学とこれに関連する諸科学の研究を行っている学者・研究者・専門家の諸学会で構成される日本唯一の連合体。経済学およびその関連諸科学に関する学術資料と加盟学会会員の発表論文の公刊と配布、『英文年報』の刊行をおこなっている。加盟学会の一覧を見ることができる。

『日本経済学会』 http://www.jeaweb.org/

一般社団法人日本経済学会公式ウェブサイト。経済学者・エコノミストへ向けた最新の情報を提供している。 学会概要をはじめ、主な活動に関するニュース、年次大会他の情報を知ることができる。